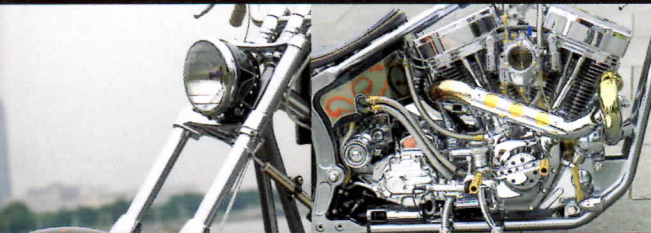




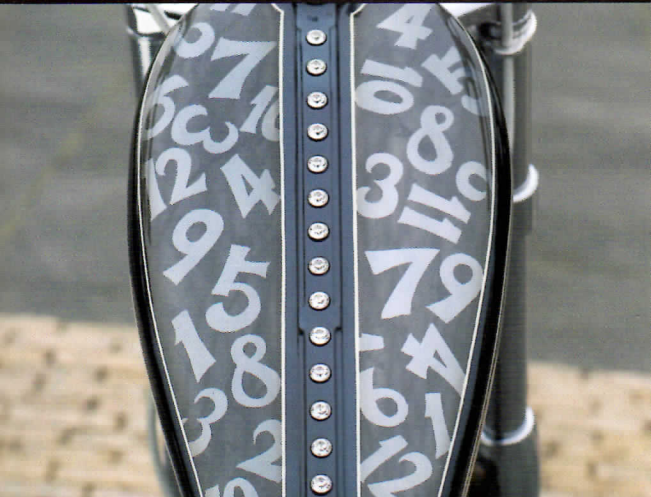
フェンダーステーはベルトのスタックがモチーフ。ベルトのブリーザーがブレーキディスクも兼ねる

シートをかこむジッパーもファッションを強く意識させるディテールである



フレームにあわせて6インチロングとなるフォークが迫力のフロントビューを生み出す

S&S、デルクロンなどパフォーマンスパーツで107ciのエンジン。大柄な車体に見合うパワーをもつ



タンクに配されたジルコニアがマシンのコンセプトを明確にする。ペイントワークもオーナーのファッションに関連付けられたものだ

新時代を切り開く 先駆けとなるフォーム。

Custom Bike

ROYAL CLOWNS

Custom Shop

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLE

エンジンの小ささとタンクのスリムさ、そしてロングフォークの迫力は横から見るとよくわかる



text/A.Takeuchi 竹内淳
photo/S.Ise 伊勢信
取材協力/セレクトッド
TEL045-252-2933
www.selected.co.jp

ワルだけがチョッパーの定義ではない。

ツインカムはチョッパーのカスタムに向かない、そんな一般論を打ち破るかのように登場し、ニュースタイルというカテゴリーに新たなテーマを吹き込んだのがこの2台だ。チョッパーといえばワルを全面に押し出すイメージがあるけれど、このマシン達がテーマにしたのはオーナーのファッション。ジルコニアやコンチヨなどファッションに用いられるアイテムと、パフォーマンスパーツを組み合わせることで、煌びやかなオトナの跨るチョッパーという新たな方程式を成立させた。もちろんツインカムの力をフルに引き出す走りの性能はハイウェイでも他の追随を許さない。バイクに自分が合わせるのではなく、自分にピッタリと合い、魅せてくれるバイク。新たな時代の幕開けはすでに始まっている。

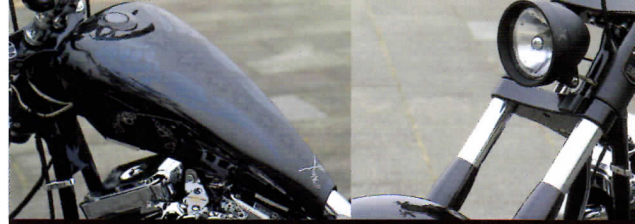


Contemporary
BUILDERS WORKS

ROYAL CLOWNS
PEACEMAKER
LOWRIDER MAMA

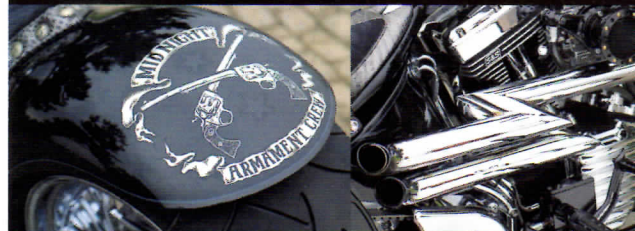


ブラックのホイールでタイヤのボリュウム感を際立たせることで、実際よりファットな印象に



首を持ち上げるコブラのように見えるフォルムのタンク。ファッションブランド「roar」のロゴを配す

ビレットのツリーに組み合わせるのはレザーのフォークカバー。ファッションに使う素材を採り入れる



300ワイドのタイヤを覆うフェンダーには「roar」のロゴとなるビースメーカーが描かれる

膝上をS&Sにしたエンジンはアクセルをひねればダイナマイトヒップに申しぶんないパワーを与える

ファッションとのコラボで
生まれたNEWスタイル。

Custom Bike

PEACEMAKER

Custom Shop

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLE

text/A.Takeuchi 竹内淳 photo/S.Ise 伊勢悟
取材協力/セレクトッド TEL045-252-2933 www.selected.co.jp



クロコ型押しした牛革とアルカンタラで仕立てたシート。「roar」のロゴを刻印したコンチヨがアクセントになっている

